



決裁案

在御軍人ヲ主體トスル政治的色彩アル團體及右翼  
 團體ニ對スル憲法ノ反轉方針ニ關スル件別紙ハ  
 如ク決定致度  
 右 諸決裁

昭和十一年七月三日

在郷軍人ヲ主體トスル政治的色彩アル團體及  
右翼團體ニ對スル憲兵ノ取締方針

一、在郷軍人ヲ主體トスル政治的色彩アル團體及右翼  
團體ニ就テハ左記指導方針ニ基キ陸軍省主任者  
ニ於テ之ヲ指導ス

二、憲兵ハ右指導方針ニ副フ如ク之等團體ノ内容特  
ニ其ノ主義、精神、主要人物、設立ノ動機、運動方法  
及情況、資金關係會員數等ヲ詳細ニ調査シ且  
常ニ其動向ヲ明ニシ陸軍省ニ連絡スルモノトシ憲兵  
自ラ指導ヲ爲スカ如キハ嚴ニ戒シムルモノトス

左記

在郷軍人及右翼團體ノ指導ニ關スル方針

一、在郷軍人及同軍人會

一、在郷軍人及同軍人會ニ對スル本會指導ヲ適切ニシ一層之ヲ統制ヲ強化シ團結ヲ鞏固ニシ以テ軍本然ノ使命ニ對シ積極的ニシテ活潑且強カナル支援ヲ爲サシムル如クス而シテ

二、在郷軍人會ハ其ノ組織確立トモ並ニ現下情勢ニ鑑ミ軍人精神ヲ鍛鍊シ軍事能力ヲ増進スルニトモ並ニ兼テ軍中兵部ノ施策ニ順應シテ輿論ヲ指導シ協力スルニ嚴ニ其ノ限界ヲ守リ苟モ政治的策動ヲ爲サル如ク指導ス

二、在郷軍人カ主動ノ地位ニ立テル政治的團體  
在郷軍人カ主動ノ地位ニ立テル政治的色彩ヲ有スル團體ヲ組成スル場合ニ於テハ徒ニ彈壓的態度ニ出ツルコトナク其ノ中正堅實ナルモノニ對シテ

ハ之ヲ善導支援シ以テ外郭團體トシテ軍ノ企  
圖ニ協力セシム

### 三右翼團體

右翼團體ニ對シテハ徒ラニ之ヲ疎外放任スルコト  
ナク有力ニシテ堅實穩健ナルモノヲ撰定シ要ス  
レハ積極的ニ之ヲ善導支援シ以テ軍ノ企圖ニ協力  
セシム而テ之カ指導ハ軍ハ努メテ部外ノ適當少  
數人物ヲ通シ穩密ニ實施シ且之トノ連絡ハ陸軍  
省主任者ニ極限シ指導ノ多岐ニ亘ルヲ避ク  
四在郷軍人有志ノ組織スル政治的色彩アル團體タ  
ルト右翼團體タルトテ問ハス左記事項ハ必ス之  
ヲ嚴戒セシム  
一 現役軍人軍隊ニ働キカケサルコト  
二 在郷軍人會ノ統制ヲ紊シ若ハ會ノ名目ヲ借

稱シ又ハ濫用セサルコト

3. 軍ノ方針ヨリ脱逸セサルコト

4. 合法的ナルコト

(裁決)行決 覽回後		連帶		執行指定		決裁指定		保存期限	
長(部)局		長(部)局		大臣		件名		受領番號	
				政務次官		在郷軍人ヲ主體トシテ政治的色彩ヲ團體及右翼團體ニ對シテ憲兵ノ取締方針ニ關スル件		貳第三二八號	
長課		長課		高次官				(決行後)	
				參與官				起元應(課名)	
				書記官				審案	
				主務副官				筆記者	
				主務課長				陸軍	
				大臣官房				兵務課	
				主務局長				昭和三十二年五月十日	
				受領了結				昭和三十二年五月十日	
				受領提出				昭和三十二年五月十日	
				大臣官房				昭和三十二年五月十日	

政務官 書記官 回付(決行前)

(決行後)

審案 筆記者

陸軍

陸軍

副官ヨリ憲兵司令部總務部長へ通牒あり  
首類ノ件ニ關シ別紙ノ通定メラレタルニ付  
通牒ス

陸軍第二二〇七號

昭和十一年三月十一日

